

府中地区

基本情報： 地区面積：85.5ha

地区人口：7,000人

市人口：45,200人

(広島県府中市)

【平成20年度まち交大賞・部門賞（アイデア賞）】

■まちづくりストーリー

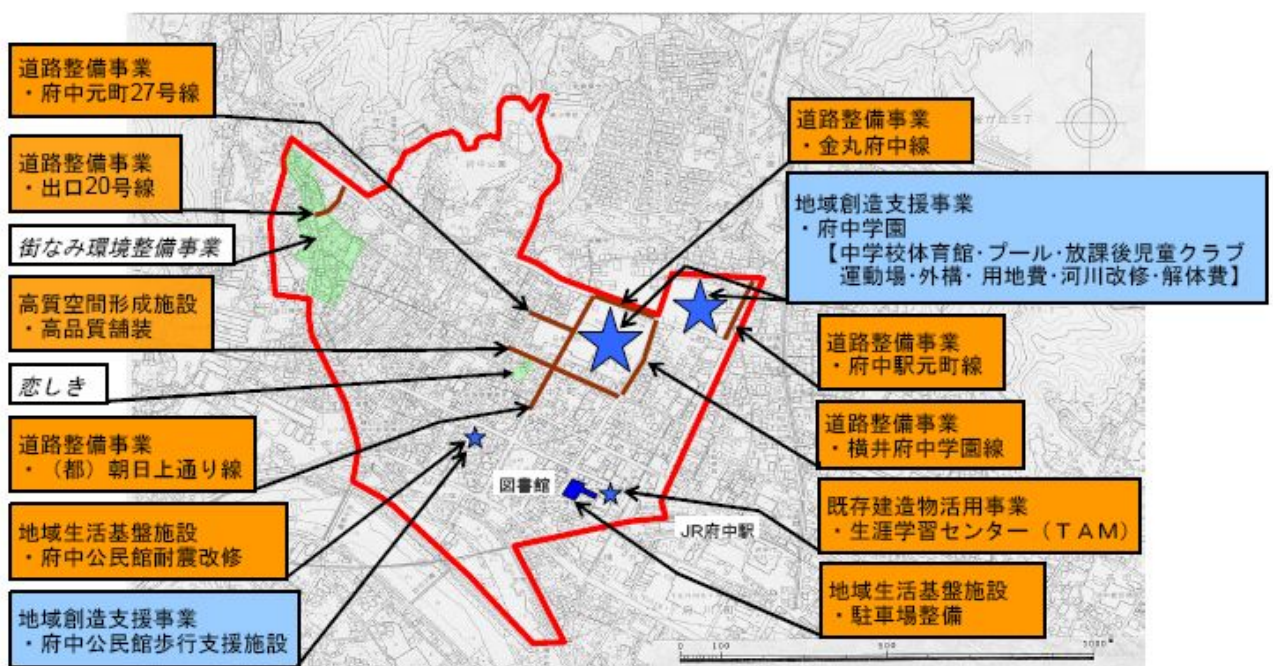
- 中心市街地の大規模工場跡地における統合小中学校の整備は、本地区の目標である「中心市街地の賑わいの再生」に資する効果は非常に大きく、空洞化の進む市街地にとって、必要不可欠な事業である。中心市街地内に位置する府中公民館は、学習の場、活動の場、交流の場の機能に加えて、地域の避難場所にも指定されている。今後とも中心市街地における賑わいの場や地域防災拠点としての機能を維持し、利用者の利便性の向上を図る。

- ・府中地区は本市の中心市街地であり、古くから家具やみそなどの特産物の生産に加え、機械金属工業や繊維等の集積も顕著であり、備後地域内陸部の製造業の都市として発展してきた。
- ・しかし、近年地区外への転居者や高齢化率が増加し、大型ショッピングセンター、郊外型大型店舗の新設等により既存商店街の店舗数が最盛期に比べ半減するなど、中心市街地の賑わいの再生が喫緊の課題となっている。

■まちづくりの目標

- 地域交流センター、府中学園、幹線道路の整備などによって中心市街地の賑わいを再生させるとともに、地域の防災性・安全性の向上を図る。また、歴史的資源等を活用し誇りと愛着のもてるまちづくりを演出する。

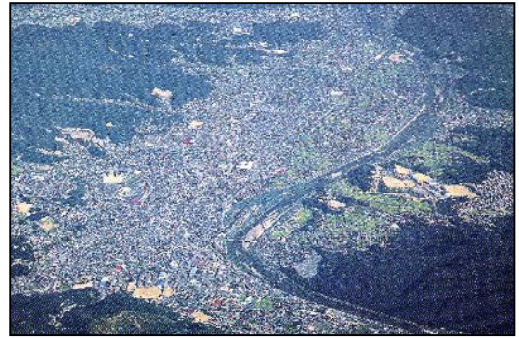
- ・中心市街地の賑わいの再生、地域の防災性・安全性の向上、安心して歩ける歩行者空間の確保、歴史的資源を活用した魅力の向上を目標とする。



■まちづくりのポイント

●魅力ある中心市街地を創出し、歴史的資源を活かした賑わいの再生を図る。

- ・中心市街地の賑わいの再生を図るための核となる施設整備を行い、これによる回遊性の増加に対応するため、相互に活用できるネットワークの構築を図る。



市街地全景

■まちづくりへのコメント

●府中市長 伊藤吉和氏

平成19年5月、本市は内閣総理大臣より「中心市街地活性化基本計画」の認定をいただきました。これを受け、生活機能が集積した「コンパクトシティ」づくりによって、人口流出や大型店の郊外化によるまちの衰退を食い止め、賑わいある中心市街地を取り戻すための土台づくりができました。

吉川英治や井伏鱒二など、多くの文人や著名人らも宿泊した老舗割烹旅館「恋しき」は、平成19年11月のリニューアルオープン後から多数の人々が来場し、往時の賑わいが甦りました。

本市は、小中一貫教育を市内全域で実施しています。平成20年4月には、4小学校と1中学校を統合した府中学園も開校しました。一体型の校舎は、小学校はオープンスペース型、中学校は教科教室型の運営方式を取り入れています。この学園の開校により、本市の小中一貫教育に、より一層の教育効果をもたらされることが期待されます。

【提案事業】



平成20年4月開校

府 中 学 園

(4小学校、1中学校を統合し小中一貫教育を実施)